

駒ヶ根市新型コロナウイルス緊急経済対策事業

令和4年度駒ヶ根市一般会計当初予算関連 事業概要説明資料

令和4年3月

令和4年度 駒ヶ根市新型コロナウイルス緊急経済対策事業 一覧

【総事業費】 77,627千円

【財 源】 国庫支出金 (地方創生臨時交付金)

● 市民の生活維持及び下支えのための対策

No. 2	地区避難施設Wi-Fi整備	960千円
No. 3	中沢支所・東伊那支所空調設備設置工事	2,600千円
No. 7	農村環境改善センター空調設備設置工事	1,750千円
No. 8	シルクミュージアム空調設備改修工事	22,660千円
No.10	文化センター空調設備設置・更新工事	14,630千円
No.11	文化センタートイレ改修工事	13,431千円

● 事業者の事業継続及び雇用維持のための対策

No. 6	農業経営者「収入保険」加入支援事業	2,500千円
No. 9	中央アルプス魅力体感事業	3,000千円

● 新しい生活様式のための対策

No. 1	市議会タブレット端末及びペーパーレス会議システム導入	7,534千円
No. 4	こまタク予約配車システム実証事業	4,728千円
No. 5	環境配慮型モビリティ実証事業 (山麓周遊システム実証事業)	3,834千円

市議会タブレット端末及びペーパーレス会議システム導入

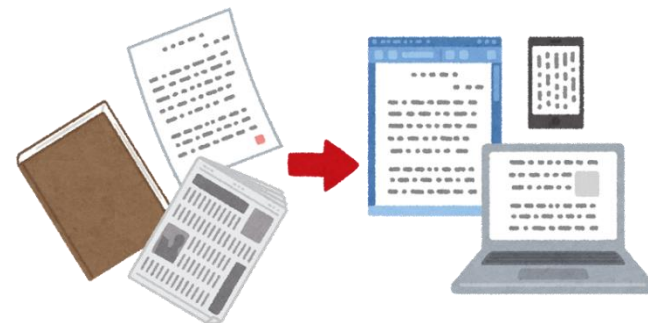
事業費： 7,534千円

目 的

議会・議員活動の活性化や効率化をはじめ、「ウィズコロナ」に対応した新しい生活様式が求められている中で、議会もICT化に向けた取り組みを加速する必要がある。議会運営・業務の効率化、情報の即時共有、ペーパーレスによる環境配慮など、議会機能強化を目的にタブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入する。

事業の概要・内容

議案や総合計画、各種会議資料などを電子データ化し、ペーパーレス会議システムを搭載したタブレット端末を導入・活用し、本会議・委員会・全員協議会等を基本的にペーパーレスに行う。また、運用に向けて利用者及び管理者研修を実施する。



対象者

議員、理事者、職員

実施時期

令和4年4月～令和5年3月

担当部署

議会事務局 内線801

地区避難施設Wi-Fi整備

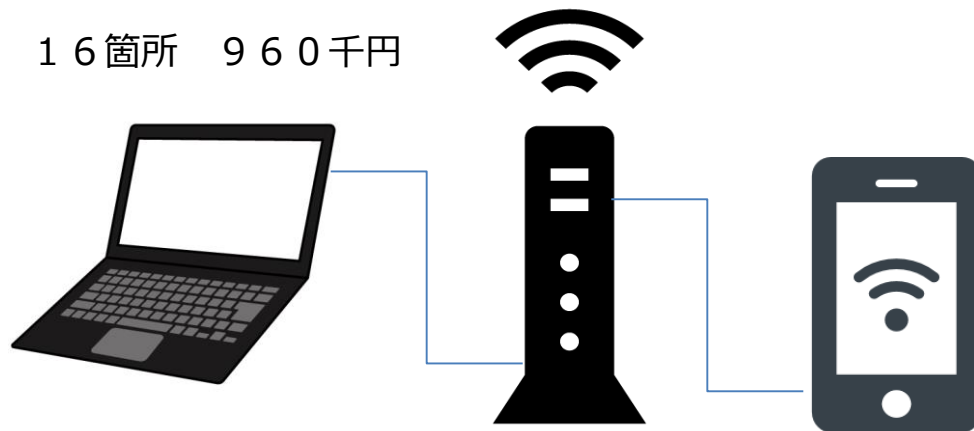
事業費： 960千円

目的

地区の避難施設にWi-Fi環境を整備することにより、災害時における情報収集等の活用及び施設利用の利便性を図る。

事業の概要・内容

地区の避難施設（集会所等）へのWi-Fi環境整備 16箇所 960千円



対象者

施設利用者

実施期間

令和4年度

担当部署

総務部 総務課 内線211

中沢支所・東伊那支所空調設備設置工事

事業費：2,600千円

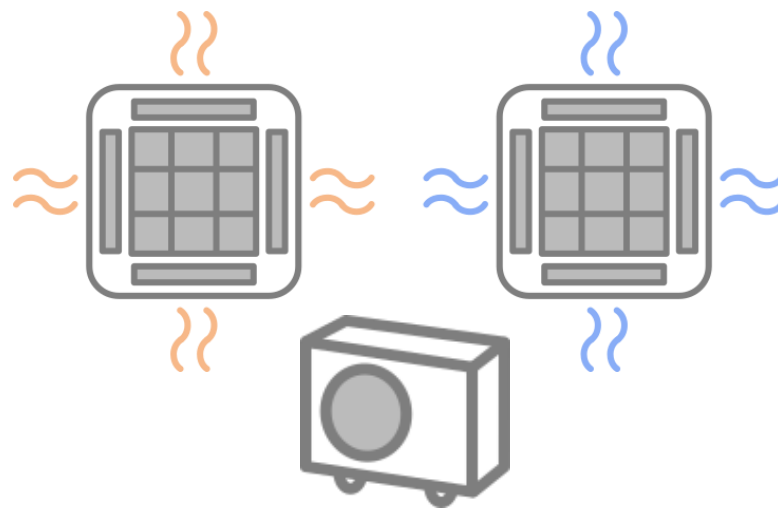
目的

災害時の避難所として使用される施設における新型コロナウイルスの感染リスク低減を図るため、空調設備の整備を行う。

事業の概要・内容

中沢支所 視聴覚室 1,300千円

東伊那支所 第2会議室 1,300千円



対象者

市民及び職員

実施期間

令和4年度

担当部署

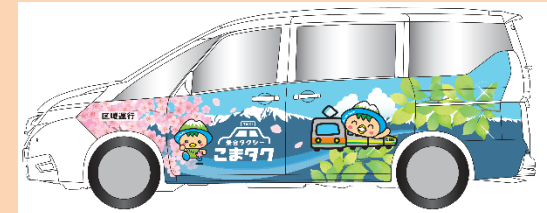
総務部 総務課
中沢支所・東伊那支所 短縮201

こまタク予約配車システム実証事業

事業費：4,728千円

目 的

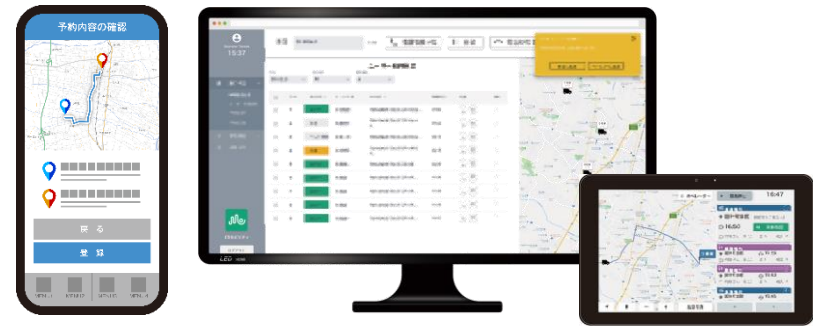
現行の こまタク（こまがねデマンド型乗合タクシー）は、
人力による配車を実現させるために、運行会社により運行エリアを区分し、
かつ、2時間の運行間隔としている。結果、運行に非効率な部分が生じる、
利用者が移動したい時間と運行時間とのずれが生じる、という課題がある。
そこで、これらの課題解決に向け、前年度実施した実証結果を基に改善を
したシステムの実証を行い、システム実装に向けた調整を行う。



事業の概要・内容

こまタク の予約配車システム※実証実験を通じて、
実装に向けた検証・調整を行う。

※令和3年度に整備した、「予約配車システム、利用者用予約アプリケーション、オペレーター用アプリケーション、ドライバー用アプリケーション、管理者用アプリケーション」からなるこまタクの予約配車システム



対象者

こまタク運行事業者（駒ヶ根市地域公共交通協議会）
こまタク利用者（市民）

実施時期

令和4年4月～12月

担当部署

総務部 企画振興課 内線244

環境配慮型モビリティ実証事業
(山麓周遊システム実証事業)

事業費：3,834千円

目 的

駒ヶ根高原に点在する観光拠点の誘客及び周遊促進策として、観光の繁忙期における、環境配慮型モビリティ（電気バス、燃料電池バスなど）の効果検証のため。

事業の概要・内容

ロープウェイを目的に訪れる観光客を中心に、菅の台バスセンター付近に滞留している観光客を、駒ヶ根高原に点在する観光拠点へ分散かつ周遊を促すために、感染症対策が施され、移動自体が観光になり、環境にやさしい新しい交通システムを試験導入し、特に観光繁忙期（混雑期※）での効果を測る。

※4～5月（春）、7～8月（夏休み）、
9～10月（紅葉）のうち、
2週間の運行を2セット



対象者

観光客及び市民

実施時期

令和4年4月～10月の間の2回

担当部署

総務部 企画振興課 内線244

農業経営者「収入保険」加入支援事業

事業費：2,500千円

目的

新型コロナウイルスの影響による市場価格の下落、凍霜害による果樹の品質低下、滞水による収量減少、いもち病による収量減など、様々な要因による所得減少を補填する、農業共済の「収入保険」制度への加入を促進するため、保険料の一部を補助する。

事業の概要・内容

保険料の1/2を補助

法人20万円、個人10万円を限度額とする

(交付は1回限り)

収入保険の加入要件は、

法人は確定申告

個人は青色申告していること。

収入保険は、自然災害や価格低下だけでなく
農業者の経営努力では避けられない収入減少が
補償の対象です！



自然災害や病虫害、鳥獣害
などで収量が下がった



市場価格が下がった



災害で作付不能になった



けがや病気で収穫が
できない



倉庫が浸水して
売り物にならない



取引先が倒産した



盗難や運搬中の事故
にあった



輸出したが為替変動
で大損した



対象者

市内に住所を有し、農業共済の「収入保険」に
加入している農業者（個人・法人）及び新規に
加入した農業者（個人・法人）

実施期間

令和4年度

担当部署

産業部 農林課 内線413

駒ヶ根市新型コロナウイルス緊急経済対策
令和4年度 駒ヶ根市一般会計当初予算

概要説明資料 NO.7、NO.8

【農林業施設空調設備工事】

- (1)農村環境改善センター空調設備設置工事 (NO.7)
(2)シルクミュージアム空調設備改修工事 (NO.8)

事業費

- (1)農村環境改善センター: 1,750千円
(2)シルクミュージアム :22,660千円

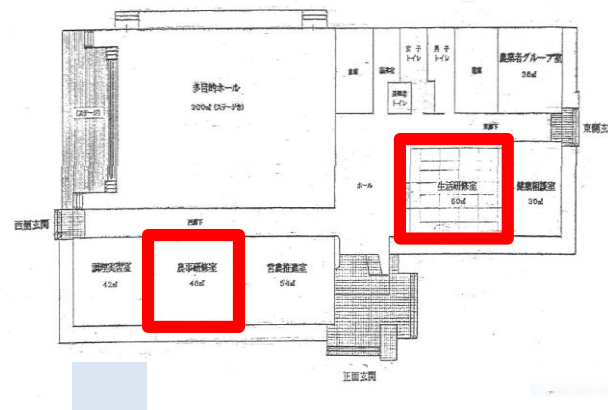
目的

新型コロナウイルスの感染リスク低減を図るため、空調設備の整備を行う。

事業の概要・内容

(1)農村環境改善センター（一心館）

- ・空調設備新設工事
- ・農事研修室及び生活研修室
- ・事業費 1,750千円



農村環境改善センター

(2)シルクミュージアム

- ・空調換気設備改修工事
- ・展示室
- ・事業費 22,660千円

シルクミュージアム



対象者

施設利用者

実施期間

令和4年度

担当部署

産業部 農林課 内線418 No.7
内線413 No.8

中央アルプス魅力体感事業
(中央アルプスロープウェイ利用促進補助)

事業費：3,000千円

目 的

中央アルプスの国定公園指定を契機に、多くの市民の皆さんに地元の財産である「中央アルプス」に親しんでもらうため、ロープウェイ代金の利用補助を行い、気軽に千畳敷カールまで足を運んでもらい、その壮大さや魅力を体感する機会をつくる。

多くの市民が利用することで、駒ヶ根ファンを増やし、自らが広報マンとして市の魅力を発信してもらうことが期待できる。

事業の概要・内容

予算 3,000千円



区分	ロープウェイ 割引額	利用料金 (割引後金額)	利用想定 人数
大人 (高校生以上)	1,540 円 (中ア観光の独自割540円含む)	1,000 円	1,800 人
小学生以下	全額 (1,260 円)	0 円	500 人
中学生	全額 (2,540 円)	0 円	200 人

(注) 往復料金のみ該当。大人(中学生以上) 2,540円 小学生以下1,260円 大人1人につき、乳幼児1人無料。

対象者

駒ヶ根市民限定

実施期間

令和4年6月～令和5年2月
(期間内でも終了の場合あり)

担当部署

産業部 商工観光課 内線441

文化センター空調設備設置・更新工事

事業費：14,630千円

目的

様々な講座や研修などで使用される施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減及び環境改善のため、空調設備の新設・更新の整備を行う。

事業の概要・内容

- 講習室・集会室 更新
- 料理実習室 新設



【講習室・集会室内と現在の空調設備】



【空調設備未設置の料理実習室内】

対象者

文化センター施設利用者

実施期間

令和4年度

担当部署

教育委員会 社会教育課 内線721

文化センタートイレ改修工事

事業費：１３，４３１千円

目 的

施設利用者に対する和式トイレ使用後に含まれるウイルス類の飛散を防ぎ、利用者の安心・安全を確保する。

事業の概要・内容

総合文化センターの和式トイレ（２７器）を蓋付きの洋式トイレに改修し、洋式トイレ（１７器）は温水洗浄便座に改修し、汚物からのウイルスの飛散を防ぎ、ウイルス感染対策を行う。



対象者

文化センター施設利用者

実施期間

令和４年度

担当部署

教育委員会 社会教育課 内線７２１

令和4年度 駒ヶ根市新型コロナウイルス緊急経済対策事業 経過

(1/1)

区分	No.	種別※	主な事業及び内容	事業費
当初予算 (R4.3.18)	1	D	市議会タブレット端末及びペーパーレス会議システム導入	7,534千円
	2	A	地区避難施設Wi-Fi整備	960千円
	3	A	中沢支所・東伊那支所空調設備設置工事	2,600千円
	4	D	こまタク予約配車システム実証事業	4,728千円
	5	D	環境配慮型モビリティ実証事業（山麓周遊システム実証事業）	3,834千円
	6	B	農業経営者「収入保険」加入支援事業	2,500千円
	7	A	農村環境改善センター空調設備設置工事	1,750千円
	8	A	シルクミュージアム空調設備改修工事	22,660千円
	9	B	中央アルプス魅力体感事業	3,000千円
	10	A	文化センター空調設備設置・更新工事	14,630千円
	11	A	文化センタートイレ改修工事	13,431千円

※「種別」の凡例

A 市民の生活維持及び下支えのための対策

B 事業者の事業継続及び雇用維持のための対策

C 地域経済活性化及び需要喚起

D 新しい生活様式のための対策